

平成 18 年度事業報告書

第1 事業の状況

熊本市からの受託事業

1 熊本市現代美術館の施設等管理運營業務

- (1) 美術館の日常管理業務
 - 美術館来館者の案内、受付等
 - 企画展入場者の受付及び料金徴収等
 - 各種使用料等(光熱水費・電話代等)管理及び支払
- (2) 美術館の施設使用許可及び美術品等特別利用許可等に関する準備及び事務補助
施設等使用申請の受付、施設等の貸出管理及び料金徴収
- (3) 美術館に対する意見、要望の聴取等
- (4) 熊本市現代美術館の施設及び設備等の維持管理
 - 施設及び設備等の日常管理
 - 電気・空調等設備機器保守管理
 - 施設の清掃
 - セキュリティシステム及び防災システムの管理並びに警備
 - 美術情報システム及びVODシステムの機器のリース並びにハード及びソフト保守
- (5) その他美術館の運営にかかる業務

2 美術作品、作家等に関する調査及び研究等業務

- (1) 美術文化に関する専門的・技術的な調査・研究
 - 今後の展覧会企画等に備え、最新の現代美術作家及び作品の調査・研究を行うため、国内外の学芸員、作家等との情報交換を行うと共に、現地での調査を行った。
 - 上記調査を基に、招聘作家の選定及び作家との交渉、他美術館担当者等関係機関との連絡調整を行いながら今後の展覧会の企画検討を行った。その結果開催予定の平成 19 年度展覧会は下記のとおりである。

| | |
|-------------------|------------------------|
| 森村泰昌 美の教室、静聴せよ展 | (H19.3.24 ~ H19.7.8) |
| ATTITUDE2007 展 | (H19.7.21 ~ H19.10.14) |
| 熊本アートパレード 熊本市民美術展 | (H19.11.3 ~ H19.11.18) |
| 熊本の華人展 Vol.4 | (H19.11.23 ~ H18.12.2) |
| 日比野克彦展 | (H19.12.15 ~ H20.4.6) |
- (2) 翌年度以降開催予定展覧会等の企画等
 - ATTITUDE2007 展、日比野克彦展企画準備(平成 19 年度開催予定)業務として、作家と展示作品、カタログ仕様等についての打合せを行った。
 - 九州若手作家展の企画準備(平成 20 年度開催予定)業務として、各地の作家の情報収集及び美術関係者との交渉等を継続的に行う他、今後開催予定の国内外作家等について、展覧会開催も視野に入れ、継続的に作品調査を行っている。

- (3) 熊本市が収集する美術作品の予備調査及び報告
展覧会企画のための調査研究に併せ、熊本市の収集作品として相応しいと考えられる作家及び作品について、聴き取り調査や、現地に赴いての調査、また当該作品を預かり詳細に調査を行う等、国内外から最新の情報を収集し、データの集積を継続的に行っている。
また、調査した内容について取りまとめ、熊本市が開催した作品収集委員会(平成 19 年 1 月 24 日(水)開催)の基礎資料の作成を行った。

国際アドバイザー(2名)による海外における現代美術の状況調査
国内現代美術専門家(7名)による国内の現代美術作品に関する調査
当館学芸員による調査

- (4) 美術等に関する図書資料の収集、整理及びホームギャラリー、キッズサロン等における市民への開架

美術等に関する書籍の購入

ホームギャラリー等における市民への開架用書籍(581 冊)

研究及び市民への開架用定期刊行物(45 冊)

作品・作家等の研究用書籍(78 冊)

研究及びメディアギャラリー等における市民への公開用映像資料(107 本)

の書籍分類及び検索サービスの向上並びに書籍保護を目的とした図書装備

洋書(一般書 36 冊)

和書(絵本等 452 冊)

- (5) 熊本市所蔵作品等の整理、保管及び貸出等

各美術館からの依頼に応じた熊本市所蔵作品の貸出等

3 美術教育普及事業等の実施

(1) 美術館広報活動

熊本市現代美術館を市民に周知するとともに、美術館を身近な存在として捉えてもらうための刊行物の発行及び記事の提供等。

美術評論紙「アートキッスレター」発行(年 6 回)

(内容) 市内のギャラリー等で開催されている市民の芸術・文化活動を紹介、評論。

美術館で開催している展覧会、作家紹介、イベントの報告、その他美術館からのお知らせ等

(目的) 市民の創作意欲を高めるとともに、紙面を通じて、創作者及び一般市民に美術館をより身近な存在として捉えてもらうことを目的としている。

Vol.27:平成 18 年 6 月発行

Vol.28:平成 18 年 8 月発行

Vol.29:平成 18 年 9 月発行

Vol.30:平成 18 年 11 月発行



Vol.31:平成 19 年 2 月発行

Vol.32:平成 19 年 3 月発行

肥後っ子美術新聞「びいなす」(年 3 回)

(内容) 子ども達に美術館の活動や、企画展開催アーティストのワークショップを体験してもらい、その内容を美術館職員と子どもたちが共同で執筆する子ども用新聞。

(目的) 子ども達に美術館の活動や、普段は身近に会うことができないアーティストとの活動を体験させ、美術館と学校教育が連動した新たな教育活動の可能性を探る。また、新聞発行に直接携わることで、子どもたちの美術や美術館への関心と理解を深める。新聞は、県内全小学校へ配布し、子ども達への美術館の広報を兼ねる。

第 10 号:平成 18 年 9 月発行

生人形の展覧会体感ワークショップ

(参加児童 3 才～小学 5 年:5 名)

第 11 号:平成 19 年 2 月発行

アラキーの写真ワークショップ

(参加児童小学 2 年～6 年:8 名)



熊本市現代美術館活動報告書「アート・ガマダス」(年 1 回)

(内容) 熊本市現代美術館の活動報告と学芸員による研究紀要。

(目的) 熊本市現代美術館での各種活動を、詳細に報告するとともに、学芸員の日頃の調査研究内容をまとめ、広く発表する。

第 4 号:平成 18 年 10 月発行



(2) 教育普及プログラムの実施

A 展覧会開催に併せた教育普及プログラム

アン・ハミルトン [ヴォーチェ]展

講演会等の開催

- ・CAMK レクチャー・カレッジ(ホームギャラリー)
「アン・ハミルトン-素材と感覚」 本田代志子(学芸員)(4/2)
「世界の女性アーティスト」 南島宏(館長)(5/7)

来場者:延べ 120 名

- ・「野鳥を楽しむ! くつろぎの時 - 歌声響き 夢ふくらまそう -」
(4/23:ホームギャラリー)

田中忠(日本野鳥の会 熊本県支部事務局長)

来場者:40 名



対象限定のツアーの開催

- ・ファミリー・ツアー(大人と子ども(0~6才)のペア限定)
(4/30、5/20:会場内) 参加者:各 6 組

その他

- ・春休みアニメ上映会「トムとジェリー アカデミーコレクション」
(4/1:アートロフト) 参加者:130 名
- ・ゴールデンウィーク人形劇「ぶんぶくちやがま」
(5/6:アートロフト) 参加者:110 名
- ・CAMK 春のピアノコンサート
(4/30:ホームギャラリー) 来場者:70 名
- ・月曜ロードショー(期間中毎週月曜日:アートロフト)
来場者:延べ 1,566 名
- ・フライデージャム・コンサート
(期間中毎週金曜日:ホームギャラリー-或いはアートロフト)
- ・ギャラリートーク(期間中の土・日・祝日:会場内) 会期中 34 回 参加者:延べ 241 名



反近代の逆襲II 生人形と江戸の欲望展

講演会等の開催

- ・記念講演会
「スティベルト博物館と日本コレクション」(6/24:ホームギャラリー)
講演者:フランチェスコ・チヴィータ
(スティベルト博物館学芸員)
「江戸の欲望と想像力」(7/9:ホームギャラリー)
講演者:山口昌男(文化人類学者)
「佐喜眞美術館のコレクション」(8/20:ホームギャラリー)
講演者:佐喜眞道夫(佐喜眞美術館館長)



「悪所」という名のコスモロジー」(9/10:ホームギャラリー)

講演者: 沖浦和光(桃山学院大学名誉教授)

来場者:延べ 220 名

・生人形展トークショー

「キャラクター文化と生人形」(7/17:ホームギャラリー)

講演者: 伊藤剛(漫画研究家)、宮本大人(北九州市立大学助教授)

司会: 金澤韻(川崎市市民ミュージアム学芸員)

来場者: 80 名

・CAMKレクチャー・カレッジ(ホームギャラリー)

「反近代の逆襲 II 生人形と江戸の欲望」南畹宏(館長)(6/25)

「生人形の構造」富澤治子(学芸員)(7/23)

「欧米の生人形コレクション」南畹宏(館長)(8/27)

来場者:延べ 150 名

対象限定のツアーの開催

・生人形鑑賞会

「松本喜三郎/江島栄次郎《谷汲観音像》」(7/16:浄国寺)

案内: 中山義紹(浄国寺住職)

「松本喜三郎《聖観世音菩薩像》」(7/22:来迎院)

案内: 小川修海(来迎院住職)

参加者:延べ 25 名

- ・ファミリー・ツアー (8/12、9/10、10/1:会場内)
(大人と子ども(0~6才)ペア限定)参加:延べ 18 組
- ・プレママ美術館ツアー (10/11:会場内)
(プレママ限定・家族、友人可)参加者:4 名



その他

・海老原喜之助「蝶の忌」お話し会(9/17:ホームギャラリー)来場者:30 名

・人形劇公演

「アレクサンダとぜんまいねずみ」人形劇団チャパ(7/2:アートロフト)

「みにくいあひるの子」人形劇ファンタジア (9/2:アートロフト)

「田舎のねずみと都会のねずみ」人形芝居かすぺる

(10/14:アートロフト)来場者:各 290 名



・夜間開館日の映画特別上映

「A.I.」(8/12:ホームギャラリー) 視聴者:16 名

「天と地」(8/13:ホームギャラリー) 視聴者:20 名

・月曜ロードショー(期間中毎週月曜日:アートロフト) 来場者:延べ 1,577 名

・フライデージャム・コンサート(期間中第 2、4 金曜日:ホームギャラリー-或いはアートロフト)

・ピアノボランティアによるホームギャラリー・コンサート(期間中毎日:火曜除く:ホームギャラリー)

・ギャラリートーク(期間中毎週土・日・祝日:展覧会場内)会期中 39 回実施 参加者:654 名

第 18 回熊本市民美術展熊本アートパレード

講演会等の開催

- ・荒木経惟講演会「アラーキー、愛を語る」
(11/11:ホームギャラリー) 来場者:140 名
- 関連イベントの開催
- ・「隣のすみちゃんコンサート 坂本すみ子 - 優しさをあなたに」
(11/19:ホームギャラリー) 来場者:100 名
- ・「CAMK 秋のピアノコンサート」
(11/23:ホームギャラリー) 来場者:80 名
- ・月曜ロードショー(期間中毎週月曜日:アートロフト) 来場者:236 名



熊本の華人展Vol.3

関連イベントの開催

- ・いけばな一日入門ワークショップ
(12/2:会場内) 参加者:21 名
- ・月曜ロードショー(期間中毎週月曜日:アートロフト)
来館者:延べ 101 名



ARS KUMAMOTO展

講演会等の開催

- ・講演会「ARS KUMAMOTO - 熊本力の現在 - 」
南畠宏(館長)(12/23:ホームギャラリー) 来場者:60 名
- ・アーティストトーク
- 『行為としてのアート-IZUMIWAKU project
「学校美術館構想」展から「SENDAI プロジェクト」まで』
講演者:村上タカシ(美術家、宮城教育大学助教授、八代市出身)
(2/18:ホームギャラリー) 来場者:60 名

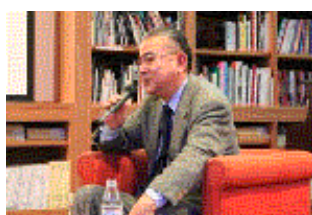


- ・記念トーク「私の大好きなこの作品」

a 講演者:友住容子(人権擁護委員)
聞き手:本田代志子(学芸員)
(1/7:ホームギャラリー)

b 講演者:泉冬星(上通商栄会会長)
聞き手:富澤治子(学芸員)
(1/21:ホームギャラリー)

c 講演者:米満淑恵
(特別養護老人ホーム「天寿園」施設長)
聞き手:芦田彩葵(学芸員)
(2/4:ホームギャラリー)
来場者:延べ 140 名



- ・CAMK レクチャー・カレッジ
- 「フラ・アンジェリコの世界」 本田代志子(学芸員)(1/14)
- 「佐伯祐三の世界」 芦田彩葵(学芸員)(1/28)
- 「オーブリー・ピアズリーの世界」 富澤治子(学芸員)(2/11)

来場者:延べ 120 名

対象限定ツアーの開催

- ・ファミリー・ツアー(大人と子ども(0~6才)のペア限定)(1/14:会場内) 参加:7組
- ・プレママ美術館ツアー(プレママ限定)(2/4:会場内) 参加者:4名

その他

- ・アルス・クマモト記念コンサート
- 「熊本オペラ芸術協会 クリスマス・イヴ コンサート」(12/24:ホームギャラリー)
- 「新春コンサート」(1/6:ホームギャラリー)
- 「土曜日コンサート」
(1/20、2/3:ホームギャラリー)

来場者:延べ 100 名

- ・月曜ロードショー(期間中毎週月曜9日:アートロフト)

来場者:延べ 980 名

- ・フライデージャム・コンサート(期間中第2、4金曜日:ホームギャラリー-或いはアートロフト)

- ・ピアノボランティアによるホームギャラリー・コンサート

(期間中毎日:火曜除く:ホームギャラリー)

- ・ギャラリートーク(期間中毎週土・日・祝日:展覧会場内)

会期中 22 回 参加者:164 名



VI 森村泰昌 美の教室、静聴せよ展

講演会等の開催

- ・「森村泰昌 - 17歳のための美の教室」
森村泰昌(3/24:ホームギャラリー)
- ・「森村泰昌と三島由紀夫」
南島宏(熊本市現代美術館館長)(3/25:ホームギャラリー)

来場者:延べ 150 名



その他

- ・月曜ロードショー(期間中毎週月曜日:アートロフト) 来場者:延べ 80 名
- ・フライデージャム・コンサート(期間中第2、4金曜日:ホームギャラリー-或いはアートロフト)
- ・ピアノボランティアによるホームギャラリー・コンサート(期間中毎日:火曜除く:ホームギャラリー)
- ・ギャラリートーク(期間中土・日・祝日:会場内)平成 18 年度中 3 回実施 参加者:38 名

B その他の教育普及プログラム

ワークショップ等の開催

- ・東町中学校特殊学級陶芸教室:(10/18、11/8,24:キッズファクトリー)

内容:東町中の特殊学級の生徒の皆さんに、キッズファクトリーにおいて、粘土づくり、色づけ、鑑賞の3回にわけ、陶芸を体験する機会を設けるもの。各自が公共交通機関等を利用し、美術館に来ることも含めた社会体験活動としての目的も持っている。



参加費:300円/参加者:10名

- ・熊本市東部公民館・熊本市現代美術館共催ワークショップ

しんせん!たいけん!ワークショップ:キッズファクトリー

内容:熊本市東部公民館と美術館の共催ワークショップ。絵画や彫刻という枠を超え、さまざまな活動を体験することで、自由な子ども達の創造力を育むことを目的とした教育プログラム。

- a こども遊便局「忍者遊び」(6.3)
- b レインスティックをつくろう(7.1)
- c こども遊便局「生人形になりきろう」(9.2)
- d 「光であそぼう」(9.30)
- e 「自然わくわくチャレンジャー」(10.21)
- f 「表現遊び」(11.25)
- g 「小枝を使った木工作」(12.2)
- h こども遊便局「忍者遊び」(1.20)
- i 「点字遊び」(3.3、3.17)



参加者:延べ110名

- ・アジアフォーカス・イン・熊本

内容:優れたアジア映画を紹介する映画祭が初めて熊本会場にて開催された。

アジアフォーカス・福岡映画祭実行委員会との共催。

| | |
|-----------------------------|---------|
| 「あぶない奴ら」(10/4:アートロフト) | 視聴者:30名 |
| 「ビッグ・ドリアン」(10/5:アートロフト) | 視聴者:13名 |
| 「逃亡者トゥムル」(10/6:アートロフト) | 視聴者:20名 |
| 「少女ヘジャル」(10/7:アートロフト) | 視聴者:34名 |
| 「ひと呼吸」(10/8:アートロフト) | 視聴者:34名 |
| 「一度でいいからキスしたい」(10/9:アートロフト) | 視聴者:36名 |

講演会等の開催

・CAMK4 周年開館記念日国際・アドバイザー講演会

「アートは人生そのもの - 中南米の現代美術から」

講演者:ハイディ・ベネガス(プエルトリコ芸術大学教授)

内容:中南米の美術の歴史と発展、そして現在開催中の各ビエンナーレに出品して、活躍する中南米のアーティストについて紹介した。

(10/12 ホームギャラリー) 来場者:50名

(3) メディアギャラリー及び美術情報システム等の管理・運営

メディアギャラリーの管理・運営

(ピンポンプラス・クリアボード・VOD(ビデオ・オン・デマンド)システム等)

美術情報システムの管理・運営

図書検索システムの内容充実

美術館ホームページの管理業務

- ・ 展覧会等の情報掲載、更新
- ・ セキュリティの強化
- ・ アクセシビリティ化、個人情報保護等対応に伴うリニューアル

4 展覧会等事業の企画及び開催

美術館(総来館者数 180,406名 / 平成18年4月1日～平成19年3月31日)

企画展(総入場者数:51,014名)

(1) 展覧会の開催

アン・ハミルトン [ヴォーチェ]



内容:熊本での調査を重ねて構想された新作インスタレーションvoce。県内の学校より借用した木製のテーブル71台、古いアナログラジオ、市民の方々より提供いただいた卓上ランプと400枚の着物が載せられ、すべてがビニールシートで包まれました。台の上には人々が立ち、鳥の声を発して、参加する作品となった。

会期:平成18年2月25日(土)～6月4日(日) 開催日数:86日(うち平成18年度開催日数:56日)

入場料:大人 1,000円、高校・大学生 500円、小・中学生 300円 市内小・中学生 無料

来館者:28,159名(平成18年度分無料ゾーンへの入館者数)

入場者:5,901名(展覧会場への入場者数 / うち平成18年度:3,875名)

反近代の逆襲 II 生人形と江戸の欲望展

内容:生人形展の第2弾。今回は熊本市が購入した安本亀八の相撲生人形を核に、明治への大転換期にあって、見世物細工の華であった生人形芸術の質の高さを改めて世に問い、生人形や浮世絵といった民衆芸術に託した、民衆の欲望とは何を意味するものであったかを検証した展覧会。



会期:平成18年6月24日(土)～10月22日(日) 開催日数:104日

入場料:大人 1,200円、大・高生 800円 小・中学生 400円 市内小・中学生 無料

来館者:74,841名(無料ゾーンへの入館者数)

入場者:30,625名(展覧会場への入場者数)

第18回熊本市市民美術展熊本アートパレード



内容:熊本市が、毎年行ってきたアンデパンダン方式(出品作品を全て展示する方式の展覧会)の公募展。今年度は「優しさ」というテーマで市民から作品を募集した結果、洋画190点、日本画54点、写真69点、書41点、版画2点、デザイン14点、平面その他17点、立体39点、映像6点、合計432点の応募があった。また、今年度は、写真家の荒木経惟氏を審査員として迎え、アートパレード大賞他14点の入賞作品を選んでいただいた。

会期:平成18年11月11日(土)～11月26日(日) 開催日数:14日

入場料:無料

来館者:8,873名(無料ゾーンへの入館者数)

入場者:3,305名(展覧会場への入場者数)

熊本の華人展 Vol.3

内容:いけばな展の第3弾。熊本市内21流派の華人たちの作品を一堂に会した展覧会。自然を愛で、身の回りの「美」を日々探求する行為を形にした各流派の「いけばな」を通して、自然の美しさを再確認するとともに、日本の伝統芸術である「いけばな」に内在する現代性を再認する展覧会となった。流派を超えた華人たちの、一瞬を大切に作る作品への迫力が感じられた。



会期:前期/平成18年12月1日(金)～3日(日)

後期/平成18年12月6日(水)～8日(金) 開催日数:6日

入場料:大人 500円、高校・大学生 300円、小・中学生 200円 市内小・中学生 無料

来館者:6,759名(無料ゾーンへの入館者数)

入場者:7,583名(展覧会場への入場者数 含前売券購入者)

ARS KUMAMOTO展



内容：熊本在住・出身で全国的に活躍する現存アーティスト71名の展覧会。絵画、彫刻、写真、陶芸、デザイン、版画等、さまざまなジャンルの作品を展示した。

会期：平成18年12月23日(土)～平成19年3月4日(日) 開催日数：57日

入場料：大人 800円、高校・大学生 500円、小・中学生 300円

市内小・中学生 無料

来館者：28,861名(無料ゾーンへの入館者数)

入場者：4,947名(展覧会場への入場者数)

森村泰昌 美の教室、静聴せよ展



内容：ゴッホの自画像やモナリザなど、世界の名画に自らが扮して撮影する、セルフ・ポートレート写真で知られる森村泰昌。今回は美術館全体が「美の教室」となり、モリムラ先生のナビゲートのもと、フェルメールからミシマまで、その「美」のありかを探る展覧会。

会期：平成19年3月24日(土)～7月8日(日)

開催日数：91日(うち平成18年度開催日数：7日)

入場料：大人 1,000円、高校・大学生 500円、小・中学生 300円

市内小・中学生 無料

来館者：4,391名(平成18年度無料ゾーンへの入館者数)

入場者：679名(平成18年度の入場者数)

(2) 井手宣通記念ギャラリー及びギャラリー による展覧会の開催

井手宣通記念ギャラリー及びギャラリー (総入場者数：34,694名)

/平成18年4月1日～平成19年3月31日)

井手宣通記念ギャラリー

美術館建設の端緒となった井手宣通氏を顕彰するため、熊本市に寄贈された約300点の作品の一部を、年間を通じて展示、公開した。

平成18年3月29日(水)～平成18年6月26日(月)

テーマ：青春期の作品、春の景色

展示作品：12点

平成18年6月28日(水)～平成18年10月1日(日)

テーマ：夏の祭と、若き日の人物描写

展示作品：13点

平成18年10月11日(水)～平成19年1月8日(月)

テーマ：秋・冬の風景画

展示作品：17点

平成19年1月10日(水)～平成19年2月26日(月)

テーマ：冬の風景画と、坂田憲雄、赤星宣利の作品

展示作品：10点

平成19年3月28日(水)～

テーマ：雲と雨、海の風景画

展示作品：9点

ギャラリー

G Vol.38 naonao's 「こんな二人、(こんなふたりてん)」



内容: デザイナーの吉原尚子氏と森川尚美氏によるデザインユニット「ナオナオズ」の展覧会。ギャラリー からエントランスまではみ出した二人のユーモラスな作品が、来館者の微笑みを誘うような展覧会となった。

会期:平成 18 年 3 月 29 日(水)～5 月 28 日(日)

開催日数:53 日(うち平成18 年度:50 日)

入場料:無料 入場者:7,016 名(うち平成18 年度:6,633 名)

[関連イベント]

- ・アーティスト・トーク(5/5)

G Vol.39 森山淡草展



内容:書家森山淡草による書作展。今回の展覧会は、書作の展示とともに書文化の観賞技術の普及活動を行った。16 点出品。

会期:平成 18 年 5 月 31 日(水)～7 月 30 日(日)

開催日数:53 日

入場料:無料 入場者:5,723 名

[関連イベント]

- ・書道観賞クラスルーム(一般向)(6/11 ホームギャラリー) 参加者:60 名
- ・第 2 回書道観賞クラスルーム(高校生向)(7/8 熊本県立美術館分館) 参加者:40 名

G Vol.40 真珠子展 Ready for Lady 展



内容:天草出身の真珠子によるドローイングや、映像による美術館での初個展。斬新な少女像で、空間全体を演出した。

会期:平成18 年 8 月 2 日(水)～10 月 1 日(日)

開催日数:53 日

入場料:無料 入場者:7,417 名

[関連イベント]

- アーティスト・トーク&ワークショップ(8/5 ホームギャラリー、キッズファクトリー)参加者:20 名

G Vol.41 「盆栽という名の宇宙 vol.3 - 日本盆栽協会熊本支部銘品」展



内容:日本盆栽協会熊本支部の方々の名品 34 点を展示。

会期:平成18 年 10 月 5 日(木)～10 月 9 日(月)

開催日数:5 日

入場料:無料 入場者:805 名

G Vol.42 「熊本の写真家」シリーズ第2弾 「光と感情 - 10人の視覚 -」展



内容:熊本の写真界を代表する10人の写真家たちがそれぞれの視覚により切り取った写真作品を通して、多様な側面を持つ写真芸術の奥深い魅力を紹介した。出品作家:岡田二郎・緒方信行・小崎宇一・小林雄治郎・坂本玖爾子・島田有子・西崎寿一・堀川宏・宮川一郎・宮崎喜一

会期:平成18年10月11日(水)~11月19日(日) 開催日数:35日

入場料:無料 入場者:4,485名

G Vol.43 ゆびさきからはじまる 点字絵本の世界展



内容:当館では開館当初から点訳ボランティアと共に制作した健常者向けの点字絵本をキッズサロンに開架しているが、この展覧会は、当館で開架している健常者向けの点訳絵本だけでなく、絵も点字で表現してある視覚障害者向けの点訳絵本を紹介した。市民に点字表現の豊かさと自身の五感の可能性を感じてもらおう機会となった。

会期:平成18年11月22日(水)~平成19年1月8日(月) 開催日数:37日

入場料:無料 入場者:2,501名

[関連イベント]

・点字絵本のみがたり(12/10:ギャラリー3)

G Vol.44 川上尉平 熊本の作家



内容:熊本市に寄贈された熊本出身の洋画家川上尉平の回顧展。展示された16点は初公開となり、来館者に川上の魅力を伝えることになった。

会期:平成19年1月10日(水)~2月25日(日) 開催日数:41日

入場料:無料 入場者:4,092名

G Vol.45 市老連創設45周年記念 第12回熊本市シルバー文化作品展



内容:熊本市老人クラブ連合会が毎年開催している「熊本市シルバー文化作品展」を、昨年度から美術館で開催している。意欲溢れる作品が数多く展示されていた。

会期:平成19年3月3日(土)~3月25日(日)

開催日数:20日 入場料:無料 入場者:2,563名

G Vol.46 湊田安子展



内容:熊本出身の画家である湊田安子氏の、海老原喜之助に師事していた頃から近年までの作品を紹介した。

会期:平成19年3月28日(水)~5月27日(土)

開催日数:53日(うち平成18年度4日)

入場料:無料 入場者:475名(平成18年度)

(3) その他の展示等

階段ギャラリー展示

内容:館内の階段壁面及び踊り場に、子ども達の作品を展示、紹介している。

場所:熊本市現代美術館階段ギャラリー

- ・《熊本友の会 幼児生活団》会期:平成 18 年 2 月 15 日(水)～5 月 14 日(日)
幼児生活団の 4 歳から 6 歳までの子ども達の生き生きとした作品を展示した。大きな紙に元気いっぱい描かれた絵画や貼り絵、空き瓶を使った立体作品など、楽しい展示。
- ・《春竹小学校ワークショップ作品展示》会期:平成 18 年 6 月 22 日(木)～11 月 1 日(水)
現代美術館も協力して、春竹小学校の全校児童が 17 年度に取り組んだ現代美術に親しむワークショップの際に制作された、楽しい作品全クラス分を展示した。
- ・《黒石原養護学校作品展示》会期:平成 18 年 11 月 3 日(金)～平成 19 年 1 月 27 日(土)
黒石原養護学校の生徒の皆さんが、制作した文化祭のポスターや絵画作品などを、文化祭の告知を兼ねて展示した。



- ・《熊本友の会 幼児生活団》会期:平成 19 年 2 月 15 日(水)～6 月 5 日(月)
「音楽」「美術」「植物」「飼育」を教育の柱とする「幼児生活団」の 4 歳から 6 歳までの子ども達の、観ているほうがわくわくするような楽しい作品を展示。

花壇植え替え



内容:熊本県立熊本養護学校高等科農芸班による美術館エントランスの花壇の植え替えをおこなった。

平成 18 年 5 月 2 日、9 月 28 日、12 月 5 日

自主事業等

(1) ワークショップ等の開催



大人や子どもを対象とした講座やワークショップを有料で実施。一般の方々に気軽に美術館を利用していただき美術に親しんでいただくことを目的とした、大人のための館内での講座、子ども達に美術は楽しいと感じてもらうための野外講座を行った。

なお、子ども芸術大学特別講座については、博物館学芸員実習(13名)の一環として、実施した。

・モクモク工房(陶芸教室):キッズ'ファクトリー

- 1) 『サラダボウル』(4/13,5/11,6/8)
- 2) 『コーヒーカップ』(5/11,6/8,7/13)
- 3) 『湯のみ』(6/8,7/13,8/10)
- 4) 『ドレッシング入れ』(7/13,8/10,9/14)
- 5) 『豆皿5枚セット』(8/10,9/14,10/12)
- 6) 『大皿』(9/14,10/12,11/9)
- 7) 『花器』(10/12,11/9,12/14)
- 8) 『自由制作A』(11/9,12/14,1/11)
- 9) 『自由制作B』(12/14,1/11,2/8)

参加費:各回 1,500 円 参加者:延べ 115 名



・子供芸術大学特別講座(アートキャンプ):(7/29~7/30:金峰山青少年自然の家)

内容:学芸員実習生1名と小学校1年生から5年生までの子ども達との、金峰山少年自然の家での1泊2日のアートキャンプ。子ども達も実習生も、最初は戸惑いながらも、造型遊びや野外炊飯、ナイトハイクなどを共同で行い、集団生活を体験することにより、「仲間」になっていった。

参加費:3,000 円/参加者:24 名



(2) 地元企業等との連携事業

地元に着した美術館を目指すため、地元企業や大学等との連携事業を実施。海外ツアーは、美術館から外に飛び出して実施した事業。

・海外美術館解説付ツアーの実施 (8/23～8/30:JTBとの共催事業)

市民の方々への美術文化の振興を図る業務の一環として、海外旅行ツアーを旅行会社と共同企画した。

イタリアの、ミラノ、フィレンツェ、ローマの3都市を巡るツアーに学芸員が同行し、美術館を案内するというもの。今回は初めての試みであったが、名画を前に学芸員の解説を聴けるツアーに美術に興味を持つ14名の方が参加した。

参加費:338,000円/参加者:14名

・住友信託銀行熊本支店開店60周年企画『60歳のラブレター朗読会』の実施

(3/7:住友信託銀行熊本支店との共催事業) ホームギャラリー

住友信託銀行熊本支店が60周年を迎えたことを受け、市民から募った「夫から妻へ、妻から夫へのラブレター」の受賞者の手紙の朗読会を行った。

同時に募集した「親子のはがき」の紹介や、当館のピアノボランティアによるピアノ演奏も交え、多くの人が集まった。

・中心市街地イルミネーション模型の展示

(12/14～1/5:熊本大学工学部建築学科3年生有志との共催事業) エントランス

11月17日から1月末まで、中心市街地の活性化のために、「城下町熊本」の夜に新たな魅力を創出することを目的に、中心市街地イルミネーション「光のページェント」が設置された。

これに併せて、熊本大学工学部建築学科3年生の有志が「通町筋のあかりのマスタープラン」を提案し、制作した「中心市街地イルミネーション模型」を12月14日から1月5日まで、エントランスホールに展示した。



(3) 中心商店街との連携事業

中心市街地に位置する美術館として、熊本市中心商店街等
連合協議会の事業に初めて参加した。

中心市街地に位置する6つの商店街が、街中に人を呼び戻し、
活気ある街にするために力を合わせる中、同じ中心市街地にある美術館も同様の目的を持っており、さまざまな角度から長期的な連携を図っていきたいと考えた。



・第2回城下町くまもと ゆかた祭(7/15、16)



7月15日、16日の2日間、中心商店街で「ゆかた祭」が開催された。

期間中は、商店街の各店舗のゆかた着用者への各種サービスの他、縁日や屋台、ゆかたの撮影会等、アーケード内でさまざまなイベントが開催された。当館も、期間中のゆかたでの来場者は入場料半額。先着100名の方にオリジナル絵はがきのプレゼント等のサービスを実施した。



・第2回城下町くまもと 銀杏祭(10/14、15)

10月14日、15日は、中心市街地で「お城まつり」「銀杏祭」「大にぎわい市」「水あかり」「ストリートアートブレックス」等、数多くのイベントが行われた。

銀杏祭は、銀座通りを中心として、各種ステージや出店等が立ち並び、多くの市民で賑わった。当館は、銀座通りでのイベントに併せ、14日は「熊本の酒の無料試飲会」(レガル)、15日は「絵本の読みがたり」(キッズサロン)を開催した。



・城下町大にぎわい市『城下町くまもとクイズウォーク』(10/15)

・第14回 よかばい! くまもと新魅力発見 1万歩ウォークラリー(10/22)

銀杏祭と併せて10月14日、15日に行われた「大にぎわい市」の一環として、お城から銀座通りまでを回る『城下町くまもとクイズウォーク』が15日に実施された。



当館では、クイズウォーク参加者に対し、開催中の『生人形と江戸の欲望展』の観覧料を半額にした。

また、10月22日に開催された「よかばい! くまもと新魅力発見実行委員会」主催のウォークラリーでは、開催中の「生人形と江戸の欲望展」会場入口をチェックポイントとした。当日は朝早くから、多くの親子連れが美術館を訪れた。

- ・ストリート・アート・プレックス エクストラヴァガンザ (10/14)
ストリートアートプレックスとは、中心商店街の通りで定期的に音楽や大道芸等のパフォーマンスを行うことによって、中心市街地ににぎわいを生み出すことと、感性ある街づくりを目的として活動している任意の団体。

銀杏祭に併せて開催された「エクストラヴァガンザ」という大きなイベントでは、初めて会場のひとつとして美術館ホームギャラリーを利用していただき、『東雲座』の民謡と琴、お座敷芸等が披露された。



- ・「くまもと安心移動ナビ・プロジェクト」の設置(2/1～18)



2月1日、2日の2日間、熊本で第4回ユニバーサルデザイン全国大会が開催されることを受け、上通商栄会等が実施した「くまもと安心移動ナビ」の実証実験に参加した。

また、これに先駆けて中心商店街等連合協議会が、商店街の店舗を休憩スペース等として、買い物客以外にも利用してもらおうと実施したUDの表示カードを当館でデザインした。

(4) その他の事業

全国に1,720万人の会員を持つJAFと提携を結び、JAF会員の割引を開始した他、熊本市が実施した「2006世界女性スポーツ会議くまもと」の参加者を歓迎するため、ウェルカムボードを設置。当日は、「アン・ハミルトン展」の入場料を会議参加者に限り無料とするなど、中心市街地に位置する美術館として、県外や海外から来られる観光客の方々へのサービスの充実を図った。



また、これらの財団独自の自主事業を、積極的に外部にアピールするため、財団のホームページを開設した。現在準備を進めており、実質的な稼働は7月からの予定。

URL <http://www.kcac-pf.jp/>

- ・JAF会員割引協定施設制度の導入(10/1～)
- ・2006世界女性スポーツ会議(5/11～5/14)
- ・財団ホームページの開設

